

令和2年度事業報告書

(自) 令和2年4月 1日

(至) 令和3年3月31日

公益財団法人宮城県母子福祉連合会

令和2年度 宮城県母子福祉連合会事業報告

I 指定管理施設「宮城県母子・父子福祉センター」（以下「センター」という。）の適正な運営

センターの管理運営に関する基本協定書及び年間協定書に基づき、次のとおり適正な運営に努めた。

1 センターの管理運営

(1) 施設の管理運営

①職員の資質向上

各種の研修会等へ職員が出席し資質向上に努めることにしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため各種の研修会は中止となったものが多かったことから、インターネットや各種広報を活用して各職員のスキルアップに努めた。なお、令和3年度は従来どおり関係する研修会等に参加することとしている。

- ・職業紹介責任者講習 (7月8日)
- ・仙台市ひとり親家庭関係相談員研修 (8月3日)

②業務執行体制

適宜会長、副会長会議を11回開催し、指定管理事業の円滑な運営を行った。

③個人情報の適正な取扱い

個人情報に関する書類は、所定の場所に保管、管理し、個人情報の取扱いを適正に行った。

④令和元年度事業に関するモニタリング・評価

指定管理者制度導入施設のモニタリング・評価（令和元年度事業分）を行った。宮城県から「総合的に適切な管理運営がなされている。ひとり親家庭への支援の充実に向けた積極的な姿勢が評価できる。」との総合評価

⑤センターの利用状況

- (ア) 来館 : 1,955名 (講習会等848名、相談102名、託児212名、その他793名)
- (イ) 電話 : 360名 (生活一般209件、児童22件、経済的支援159件、その他3件 計延393件)
- (ウ) 日曜電話相談 : 43名 (生活一般28件、児童15件、経済的支援13件、その他1件 計延57件)

(2) 相談事業

①一般相談件数 [電話、来館] (単位: 件)

相談者 相談内容	母子家庭	父子家庭	寡婦	計	摘要
生活一般について	193	10	10	213	家庭紛争、就職等
こどもについて	19	4	0	23	養育、就職等
生活援護について	150	13	6	169	福祉資金等
その他	3	0	0	3	母子生活支援施設等
計 (相談延べ件数)	365	27	16	408	

②母子父子家庭等電話相談件数

電話相談員を配置し、各種相談を実施した。相談件数: 57件 (延べ件数)

職員用資料として過去の相談事例集を作成し、活用している。

③母子父子家庭等特別相談件数 [法律相談]

県事業として弁護士による専門的な相談を、毎月1回第3木曜日に実施した。

(単位：件)

相談者	母子家庭	父子家庭	寡婦	計	摘要
相談件数	10	1	0	11	離婚に伴う養育費・親権、面会交流等

(3) 利用者サービスの向上

①就業支援講習会受講者への配慮

子育て中の母親の受講の便宜を図るため就業支援講習会、就業支援セミナーを開講し、希望者には受講時間中の託児を実施した。

②日曜日の相談対応 [一般相談、電話相談]

日曜日に開館し、就労、子育て、日常生活上の諸問題について電話及び来館による相談に応じ、助言等を行った。

③就業などに関する情報提供

「本会ホームページ」、「県政だより」、「各市町村だより」等への掲載、無料の広報媒体への掲載及び市町村、市町村社協など関係機関へのリーフレットの配布により就業支援講習会、各種相談事業及び求人情報等に関する情報提供を図った。

(4) 利用者の苦情、要望等の把握

①苦情等解決体制の整備

苦情解決に関する第三者委員を委嘱し、適切な苦情処理体制を整備した。(令和2年度苦情案件なし)

②アンケート調査による意見・要望等の把握

就業支援講習会、就業支援セミナー受講者全員にアンケートを実施し、意見・要望等を把握して次年度の講習等に反映させるとともに各地域団体への入会又は個人会員としての加入を促した。

(5) 施設の維持管理等

①施設・設備の維持管理

センター消防用設備の保守点検、受水槽・高架水槽の清掃、飲料水検査及び定期清掃並びに敷地内の除草等を行い施設設備の維持・管理に努めた。なお、県に対し屋上防水工事に係る要望を行った。

②環境配慮

「わが社のe行動(eco do!)宣言」制度の趣旨に則り、節水、節電、ゴミ削減等に努めた。

③施設の補修等

高架水槽の腐食による漏水の修繕工事を行った。また、受水槽の凍結による漏水の修繕工事や正面入口の水道蛇口及び保育室の網戸の修繕工事を行った。

(6) 安全対策

①施設の安全確認

防火管理者のもとに火元責任者を定め、日常的に火災予防、施設の安全確認を実施した。

②機械警備

警備会社にセンターの機械警備を委託し、夜間、休館日における施設の安全確保を図った。年度を通じ異常事態はなかった。

2 母子父子家庭等電話相談事業

(1) 母子父子家庭等電話相談事業

就労している者も利用しやすい日曜日等を相談日とし、電話相談員を配置して相談に応じた。(延べ件数)

相談者 相談内容	相談者				計	摘 要
	母子家庭	父子家庭	寡 婦			
生活一般について	20	2	6		28	就職、家庭紛争等
子どもについて	13	2	0		15	養育、不登校等
生活援護について	11	2	0		13	貸付資金等
そ の 他	1	0	0		1	
計	45	6	6		57	

3 母子父子家庭等就業・自立支援センター事業

(1) 就業支援事業

①就業相談

各ハローワーク、介護福祉施設及び一般企業等と連携し、相談者、就業支援講習会受講者及び当センターの求職登録者に職業紹介・求人 情報の提供を行い、求人企業へ就職斡旋を行った。その結果、就業支援講習会受講者を含め8名が就職した。

区 分		母子家庭	父子家庭	寡 婦	計	
相 談 件 数 (延べ件数)		141	0	0	141	
相談者のうち、求職登録した者		18	0	0	18	
就 職	常 勤	4	0	0	4	
	職 種	サービス業 (介護職含む)	3	0	0	3
		事 務	1	0	0	1
		そ の 他	0	0	0	0
実 績	パート・非常勤	4	0	0	4	
	職 種	サービス業 (介護職含む)	1	0	0	1
		事 務	3	0	0	3
		そ の 他	0	0	0	0
	計	8	0	0	8	

※ 就業支援講習会受講者の受講後の就職、転職状況 ((1) ①の内数)

区 分	宮城県事業		仙台市事業		計		
	介護職員	パソコン	介護職員	パソコン			
受 講 者 数	8	16	8	20	52		
受講者のうち、求職登録した者	1	2	2	6	11		
登 録 者 の 就 職	常 勤		1	0	2	1	
	職 種	サービス業 (介護職含む)	1	0	2	0	3
		事 務	0	0	0	1	1
		そ の 他	0	0	0	0	0
実 績	パート・非常勤		0	1	0	0	1
	職 種	サービス業 (同)	0	0	0	0	0
		事 務	0	1	0	0	1
		そ の 他	0	0	0	0	0
	計	1	1	2	1	5	

(2) 就業支援講習会等事業

①就職・転職支援セミナーの開催

i 開催場所：センター

ア講 師：キャリアコンサルタント 瀬尾 千恵美 氏 6回

イ内 容：①働くってどういうこと？ ②自分らしさとは？ ③社会人として求める人材像とは？

④就職・面接に備えるセミナー ⑤ビジネスにもマナーがあるの？ ⑥自分で歩む贈り物他

ii 開催状況

回数	開催日	参加者数	託児数	回数	開催日	参加者数	託児数
1	6月17日	5	0	5	12月13日	9	6
2	8月30日	9	5	6	2月28日	7	3
3	9月20日	7	4				
4	9月23日	5	0	合計		42	18

②就業支援講習会の実施状況

講座名	講習期間	定員	申込者		受講者		修了者	
			県	仙台市	県	仙台市	県	仙台市
介護職員初任者 研修（春期）	4/5~9/20 各日曜21日間 実習（コロナのため 中止）	20	2	7	1	8 (補2)	0	8 (補2)
介護職員初任者 研修（秋期）	8/30~2/28 各日曜21日間 実習（コロナのため 中止）	20	7	2	8 (補1)	2	7 (補1)	2
小計		40	9	9	9 (補1)	10 (補2)	7 (補1)	10 (補2)
ワード2013 (日曜コース)	7/26~10/25 日曜14日間	15	5	7	5	7	4 (4)	6 (4)
ワード2013 (平日コース)	6/17~8/12 水・金曜16日間	15	1	4	1	3	1 (1)	3 (3)
エクセル2013 (日曜コース)	7/26~11/1 日曜14日間 コロナのため中止	15						
エクセル2013 (平日コース)	8/21~10/11 水・金曜16日間	15	4	6	4	4	4 (3)	4 (4)
エクセル2013 (日曜コース)	11/8~R3.2/21 日曜14日間	15	9	9	6	6	5 (4)	5 (5)
小計		75	19	26	16	20	14 (12)	18 (16)
合計		115	28	35	25 (補1)	30 (補2)	21 (補1)	28 (補2)

※受講者・修了者には前年度からの繰越受講者を含み内数を 補 で表示

※県：仙台市以外 PC 合格者 12 名、市：仙台市内 PC 合格者 16 名

③託児の実施

講習会及びセミナー受講者の子（満3歳以上、小学3年生以下）の託児を行った。また託児室に玩具など必要な物品を整備した。

・託児児童数 延べ 212 名

(3) 就業情報提供事業

- ①求職登録者、就業支援講習会修了者に対しハローワーク、県社会福祉協議会及び介護施設等からの求人情報を適宜提供し、本人の意向を確認しながら就業斡旋を行った。
- ②本会ホームページに講習会・セミナーの開催日程等を随時掲載し、広報を行った。
- ③児童扶養手当現況届申請時に併せて就職情報・就職相談に関する情報提供を8月に柴田町で実施した。
なお、来庁したひとり親家庭の親50名に対して会員募集のPR活動を行った。

(4) パソコンスキルアップ講座

県南地区及び県北地区での実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できなかった。令和3年度は県北地区での実施を予定している。

II 母子父子家庭等及び寡婦の自立支援

1 仙台市母子家庭等就業支援講習会事業（再掲）

講座名	講習期間	定員	申込者	受講者	修了者
介護職員初任者研修	4/5~9/20 各日曜 23日間	5	7	8 (補2)	8 (補2)
介護職員初任者研修	8/30~2/28 各日曜 23日間	5	2	2	2
小計		10	9	10 (補2)	10 (補2)
ワード2013（日曜）	7/26~10/25 日曜 14日間	7	7	7	6 (合格者4)
ワード2013（平日）	6/17~8/12 水・金曜 16日間	7	4	3	3 (合格者3)
エクセル2013（日曜）	7/26~11/1 日曜 14日間 コロナのため中止	7			
エクセル2013（平日）	8/21~10/11 水・金曜 16日間	7	6	4	4 (合格者4)
エクセル2013（日曜）	11/8~2/21 日曜 14日間	7	9	6	5 (合格者5)
小計		35	26	20	18
合計		45	35	30	28

2 宮城県母子・父子福祉センター事業

パソコン講習受講生が自習を行う際、希望者に対しパソコン研修室を開放し、研修効果の向上を図った。

3 母子部活動の活性化

東北・北海道地区母子部長会議（オンライン会議）に参加（8月25日（火））して情報交換を行った。
なお、県母連加盟団体の合同会議は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止になった。

III 母子父子家庭等及び寡婦福祉情報の発信

1 ホームページによる情報提供

本会ホームページを随時更新し、本会事業の広報を行った。また、学生服リサイクル店及び認可保育所のホームページに相互リンクを設定し、連携を強化した。

2 リーフレット等の活用

就業支援講習会のリーフレットを作成し、県、市町村、ハローワーク、保育所など関係機関へ送付し当自立支援センター事業の周知を図った。

3 会報の作成

会報「白百合」を令和2年6月、「県母連だより」（事務局だより）を11月に発行し、会員及び関係機関等へ配布し宮城母連の活動を広報した。

IV 地域団体活動の支援

1 母子父子親家庭等子育て支援事業

(1) ひとり親家庭支援事業

毎年、5～6の地区福祉団体に補助してきたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため活動の休止や自粛した団体が多かったため補助の実績はなかった。

(2) 招待・贈呈事業

①東北楽天ゴールデンイーグルス観戦招待（楽天生命パーク宮城）

東北楽天ゴールデンイーグルスから提供をいただき、会員を観戦招待してきたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため観戦招待が中止となった。

②ふれあいきずな事業（ランドセルプレゼント）

社会福祉法人恩賜財団宮城済生会及びソロプチミスト仙台から助成を頂き、県内のひとり親家庭の小学校新入学児童（令和3年4月入学）28名（応募者36名）にランドセルを贈呈した。

③本プレゼント事業

児童の学習・絵本・歴史漫画・料理等の分野から4種類の図書を選定し、計20名（応募者52名）に贈呈した。

④食品配布（お寺おやつクラブ）

大満寺及び慈恩寺等から延9回の食品提供があり、希望する個人会員等に延13回配布した。

⑤親子日帰り旅行

親子の交流機会を提供するため11月3日（祝・火）八木山ベニーランド日帰り旅行を実施し、応募者（34組91名）の中から19世帯、大人19名、子供32名、計51名が参加した。

⑥リンゴ狩り

地区福祉会との連携事業として10月10日（土）に蔵王町室野井果樹園でリンゴ狩りを実施し、8組21名の家族と役員等9名の計30名が参加した。

⑦なべっこ交流会（個人会員茶話会+母子会員交流）

会員による芋煮会を10月25日（日）当センター中庭で実施し、大人19名、子供17名及び役員6名、計42名の参加があり会員相互の親睦を図った。

⑧みやぎ婦人会館との共催事業

みやぎ婦人会館の「親子旅物語」事業を共催し、事業実施の広報を行った。

⑨国際ソロプチミスト仙台及び国際ソロプチミスト仙台アイリスからの要請により、就業支援講習会受講生へ「女性のための教育・訓練賞」の広報を行ったところ2名の応募があり両名とも北リジョン賞を受賞した。

(3) 夢を応援基金「ひとり親家庭支援奨学金制度」運営協力

全国母子寡婦福祉団体協議会が株式会社ローソンから資金提供を受けて実施した当該奨学生募集に当たり県母連で応募者の募集、選考、推薦を行い、宮城県では7名が支給対象となった。

2 広報活動の推進

地域団体の機関紙発行を支援するため、2団体に発行経費の一部を補助した。

地域団体名	機 関 誌 名	発行部数
仙台地方母子福祉連合会	ひまわり (2020年6月発行)	180部
角田市母子福祉会	りんどう (2021年2月発行)	300部

3 研修事業

(1) 東北・北海道地区母子寡婦福祉研修大会及び全国母子寡婦福祉研修大会

令和2年9月26日(金)～27日(土)岩手県盛岡市で開催予定の第64回東北・北海道地区母子寡婦福祉研修大会及び令和2年10月24日(土)～25日(日)東京都で開催予定の令和2年度全国母子寡婦福祉研修大会は、全国的な新型コロナウイルス感染症の感染拡大から、参加者及び運営スタッフの安全対策のため中止となった。

4 各種要望活動

(1) 宮城県社会福祉協議会を通じたの要望

宮城県社会福祉協議会からの照会に応じて県に対して、県の施設における自動販売機の設置を要望した。

なお、宮城県知事及び仙台市長への要望については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

V 適正な法人運営

1 経営の充実強化

理事会、評議員会等の各種会議を開催及び書面による決議により、当会の適正な運営を図った。

(1) 理事会、評議員会の開催等

①理事会

i 6月13日 決議の省略

(決議事項) ①2019年度事業報告について

②2019年度決算及び監査報告について

③センター維持管理積立資金の取崩しについて

④就学支援研修積立資金の取崩しについて

ii 12月13日(水)

(議案) ①就学支援研修積立資金の取崩しについて

iii 令和3年3月10日(水)

(議案) ①令和3年度事業計画について

②令和3年度収支予算について

③積立資金の取崩しについて

④規則の改正について

⑤評議員会の開催について

②評議員会

i 6月25日 決議の省略

(決議事項) ①2019年度事業報告について

②2019年度決算及び監査報告について

③センター維持管理積立資金の取崩しについて

④就業支援研修事業積立資金の取崩しについて

ii 令和3年3月29日 決議の省略

(決議事項) ①令和3年度事業計画について

②令和3年度収支予算について

③積立資金の取崩しについて

④規則の改正について

(2) 監査の実施

監事会 5月20日(日)

- (監査事項) ① 令和元年度代表理事・業務執行理事の業務の執行状況について
② 2019年度事業報告について
③ 2019年度決算について

【監査結果報告】 貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録並びに諸帳簿類は適法かつ正確である。

令和2年度は宮城県公益認定等委員会等による監査はなかった。

(3) 会長、副会長会議

会長、副会長会議を11回開催し、事業執行の進行管理を図った。(4/19(日)、5/20(水)、6/7(日)、8/2(日)、8/30(日)、9/6(日)、10/4(日)、11/8(日)、12/13(日)、1/24(日)、2/28(日))

(4) 予算の効果的、効率的な執行に努めた。

(5) 指定管理業務の自己評価を行った。(再掲)

(6) 個人情報の取扱いを適正に行った。(再掲)

(7) 職員の研修に努めた。(再掲)

(8) 本会ホームページを随時更新し常に最新の情報を掲載した。また事業開催のリーフレット等により、県母連事業の広報を行った。(再掲)

(9) 本会をより広く社会全般にPRするため、シンボルマークなどを封筒等の各種媒体に登載した。また、県母連のぼりを母子・父子福祉センターへ1本常時設置している。

(10) 各種飲料自動販売機事業を継続実施した。

宮城県第2総合運動場内(宮城県スポーツ振興財団)2台、色麻町パークゴルフ場内駐車場1台、計3台設置併せて既存自販機の設置先である公益財団法人宮城県スポーツ振興財団及び色麻町農業伝習センターへ設置の継続を要請した外、自販機設置場所の拡大を図るため関係機関への働き掛けを行った。